



さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校
《校長室だより》
発行：校長 寺田 好江
令和2年度 第17号
令和2年12月10日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

平和の種まきを託されました！ 6年生「被爆体験講話」



12月9日(水)に千葉県原爆被爆者友愛会の中村さんと小谷さんに来校いただき、広島で被爆した体験を話していただきました。6年生は社会科でこれまで日本が歩んできた歴史を学び国語の「川とノリオ」という物語で、原爆で母を失ったノリオの気持ちを学習してきました。今日は実際に体験した方のお話です。中村さんは、「人は誰も考え方が違い、相手の悪い面・嫌な面を気にするけれど、よい面もあるはず。だから良い面を見ていこうとするべき。戦争も国の考え方の違いをどうすれば解決できるか、考えてほしい。」と話されました。



小谷さんは、小学1年生の時に兄弟4人で遊んでいて、のどが渇いて水を飲みに家に戻った時に被爆したそうです。家の下敷きになって助けられた時の光景は全く違うものになっていた事、弟を失った事を5歳のあっちゃんとの掛け合いでわかりやすくお話していただきました。幼稚園の先生を退職されてから、腹話術を使って、あっちゃんと共に17年間世界中で被爆体験をお話しされています。最後に、「実際に体験した方たちは高齢でいつまでも同じように語り継いではいけない。今日の感想を6年生一人一人が誰かに話してくれることで、小さな平和の種まきができると思う。手伝ってほしい。誰かに今日の思いを伝えてほしい。」と託されました。

- *教科書を見るだけではわからない戦争のおそろしさが良くわかった。小谷さんの「原爆を落とした国を恨むのではなく、二度とこんなことがあってはならないから伝えていくんだ」という話が心に残りました。
- *今までの当たり前が本当に幸せな事なんだと思った。自分は戦争の体験はないけれど、今日の話伝えることはできると思う。地球上から戦争が全部なくなってほしい。今日の話誰かに伝えていきたい。
- *戦争の恐ろしさや原爆の怖さ・激しさを今日の話聞いて、とんでもない原爆の力を知った。自分は「もう二度と戦争をしないで世界各国平和にしよう。」と思い、自分も平和の為に何かできる事がないか考えて頑張りたい。
- *僕のひいおじいちゃんも戦争で兵隊に行き亡くなった。僕は、日本国憲法第9条に「日本は戦争を永久に放棄する」とあるのを知っていい憲法だと思った。
- *日本は世界で唯一、原子爆弾を落とされた国だからこそ、核兵器の恐ろしさやせんそうの悲惨さを伝えていかなければいけないし、戦争をもう二度としてはいけないと思った。
- *小谷さんから命の大切さ、核兵器の恐ろしさがより深く学べた。「小さな平和への種まき」という言葉が強く心に残った。私は、「小さな」ではなく「大きな平和への種まき」にしていきたい。
- *お話を聞いて、今の平和は亡くなってしまった人たちがいたから今があると思った。亡くなってしまったのは悲しいけれど、だからこそ今の平和を守っていかなければいけないと思った。
- *歴史を学習して戦争に進んでいく時代があったけれど、今の日本を作った大事な歴史なのでしっかり知っていくことが大切だと感じた。体験した方たちがいなくなる時が必ず来るけれど、語り継いでいかなければならない。